本別町国民健康保険病院経営強化プランの実施状況について

健康長寿のまちづくり会議資料
R8.6 本別町国民健康保険病院

１．当病院が果たすべき役割

Ⅰ・町民の健康を支える予防医療

・健診、ドックの実施による予防医療にて、早期発見や早期治療に繋げる
・定期的な受診推奨による「健康な暮らし」を支える取り組みの推進

Ⅱ・町内の急変患者の受け入れを行う入院機能の維持

・救急告示病院として 24 時間 365 日の患者受け入れ態勢の整備
・救急、入院体制を維持するための人員確保

Ⅲ・地域包括ケアシステムを担う医療機関としての機能強化

・地域包括ケア病床を利用したリハビリテーションによる在宅復帰支援
・退院後の介護サービス事業所紹介や施設紹介等、地域連携室機能を活かした患者サポート体制強化

２．病院の運営状況

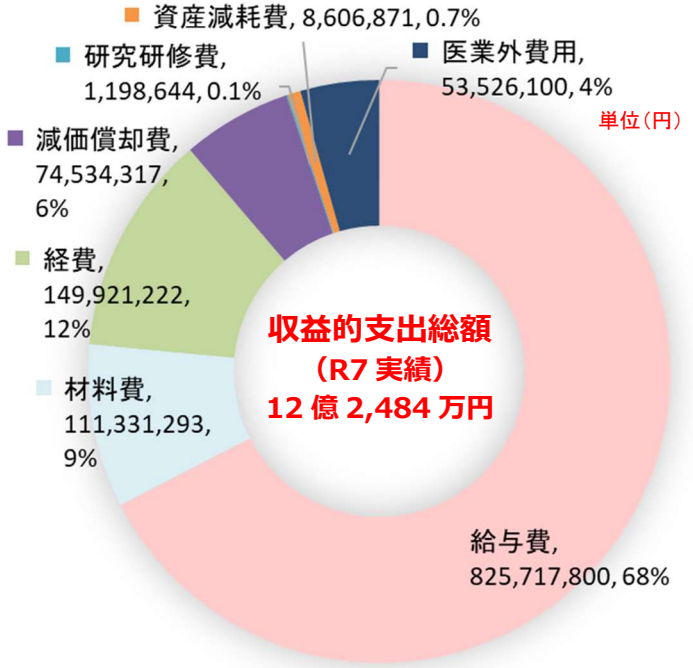
令和７年度は、令和６年度に引き続き、内科医３名、外科医１名の４名体制において、内科７コマ、呼吸器内科１コマ、総合診療科１コマ、外科４コマを常勤医の外来診療枠として開設した。

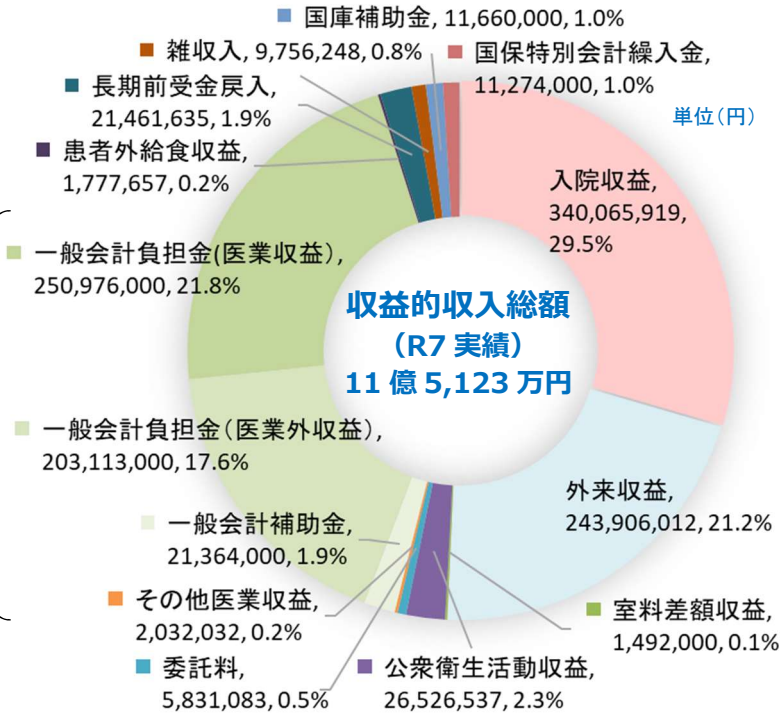
令和６年３月に策定した「本別町国民健康保険病院経営強化プラン」に沿い、地域包括ケア病床の運用やリハビリテーションの実施により、入院・外来の診療単価上昇を目指した運営に取り組んできた。

経営強化プランにおける「Ⅲ・地域包括ケアシステムを担う医療機関としての機能強化」について、国保病院として、連携室機能を活かした患者のサポート体制をより一層強化していくことが重要なことから、地域連携室における相談業務の集約化を図りつつ、地域包括ケア病床のより積極的運用を図るため、令和６年度９月より毎週定期的より開催してきた地ケア病棟セレクション会議（病棟看護師、リハビリ、連携室、外来看護師、医事職員）において、対象となるべく患者の情報共有等の強化を図ってきました。また入院患者への休日リハビリ実施も取り組みながら、地域包括ケア病床の稼働率は一定の上昇成果があったところである。入院患者数･収益は前年度を上回ったが､外来患者数･収益は減少しており､医業収益では対前年比 2.3%の増となった。

また、患者満足度向上に繋げるべくチーム連携をコミュニケーション力でつなげるための接遇コミュニケーション研修を７月と９月に実施した。

＜令和７年度決算の状況＞





一般会計負担金・補助金内訳

医業収益	1 救急医療の確保に要する経費	220,376 千円
	2 保健衛生行政事務に関する経費	13,900 千円
	3 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医療に要する経費	16,000 千円
	4 小児医療に要する経費	700 千円
	計	**250,976 千円**

医業外収益	5 へき地医療の確保に要する経費	1,100 千円
	6 企業債償還利息に要する経費	5,013 千円
	7 不採算地区病院の運営に要する経費	187,000 千円
	8 高度医療に要する経費	10,000 千円
	計	**203,113 千円**

医業外収益	9 医師等の研究研修に要する経費	1,800 千円
	10 一時借入金利息に要する経費	831 千円
	11 退職手当組合事前納付金	千円
	12 基礎年金拠出金に係る公的負担に要する経費	18,733 千円
	計	**21,364 千円**

※収益的収入分 繰入額総計 475,453 千円

財源内訳 ①普通交付税 79,824 千円 ②特別交付税 117,434 千円
③電源立地交付金 9,721 千円 ④過疎債 55,100 千円
⑤一般財源 213,374 千円

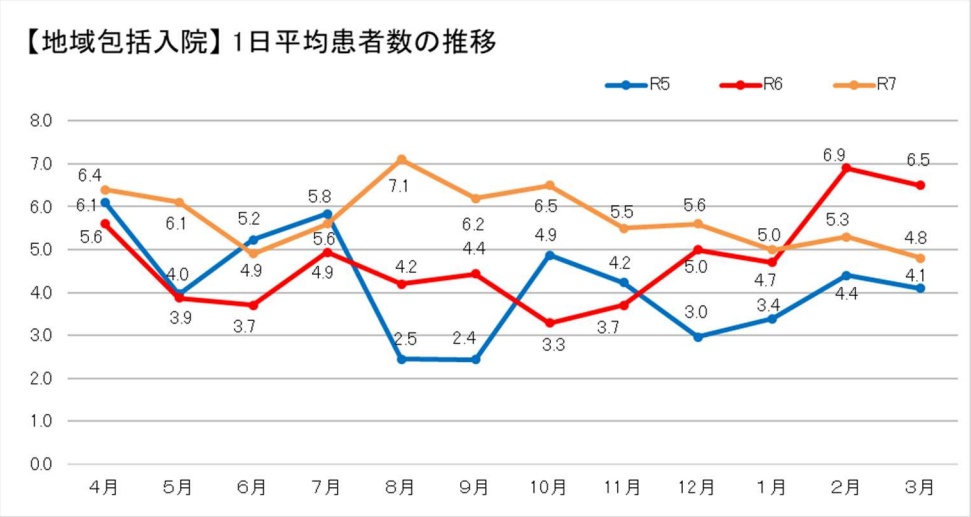
３　令和７年度の各種推進状況

１）集患・収益対策の推進

①呼吸器内科の開設（令和６年５月～）　※禁煙外来開設（R8.4～）準備

②地ケア病棟セレクション会議の強化（週１回）

～病棟看護師、リハ担当以外に外来看護師、医事担当の参加によるスムースな地ケアへの移行や外来⇒入院への移行患者の掘り起こしと情報共有



③連携室の強化による他院からの転院や通院患者の確保

④入院患者へのリハビリ早期介入と休日リハビリの推進

⑤診療報酬管理料や加算等の上乗せ

・救急医療管理加算（Ｒ５継続）

・重症者等療養環境特別加算（Ｒ５継続）

・介護支援等連携指導料強化（Ｒ６年８月～）

・リハビリテーション総合計画評価料（Ｒ６年１２月～）

・患者サポート体制充実加算（Ｒ７年１０月～）

⑥接遇改善の取り組み～研修会の開催（２回）

⑦医療提供体制確保～電子カルテ、画像管理、臨床検査、人工透析システム更新

⑧病院ＰＲ事業（５月看護の日イベント、１２月クリスマスミニコンサート）

４）経費縮減等の取り組み

①給食部門における調理済食材の購入提供（R６年７月～継続）

十勝セントラルキッチン（幕別町）からの納入

②人工透析２部制への移行（Ｒ７年９月～）

③院内研修体制の見直し（R７年９月～）

民間事業者が提供するｅラーニング（オンライン）研修制度導入により院内全体の必須研修や診療報酬加算に対応

④自治体病院ベンチマーク勉強会の開催（Ｒ７年１０月）

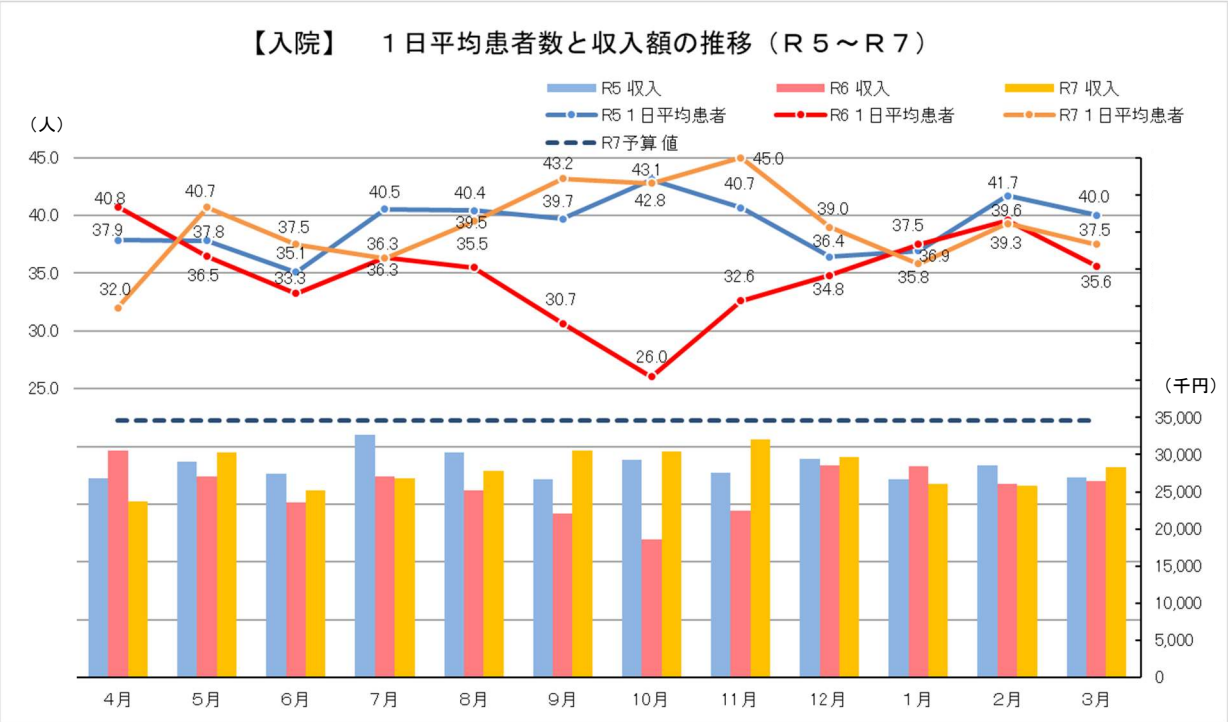
近隣４町自治体から医療事務担当が集まり診療状況比較などの独自勉強会を主催

⑤窓口の受付手順の見直し（R７年１１月～）

再来機受付→保険証確認→受付票の手渡し→診療科持参

４　患者数および医業収入実績

１）入院

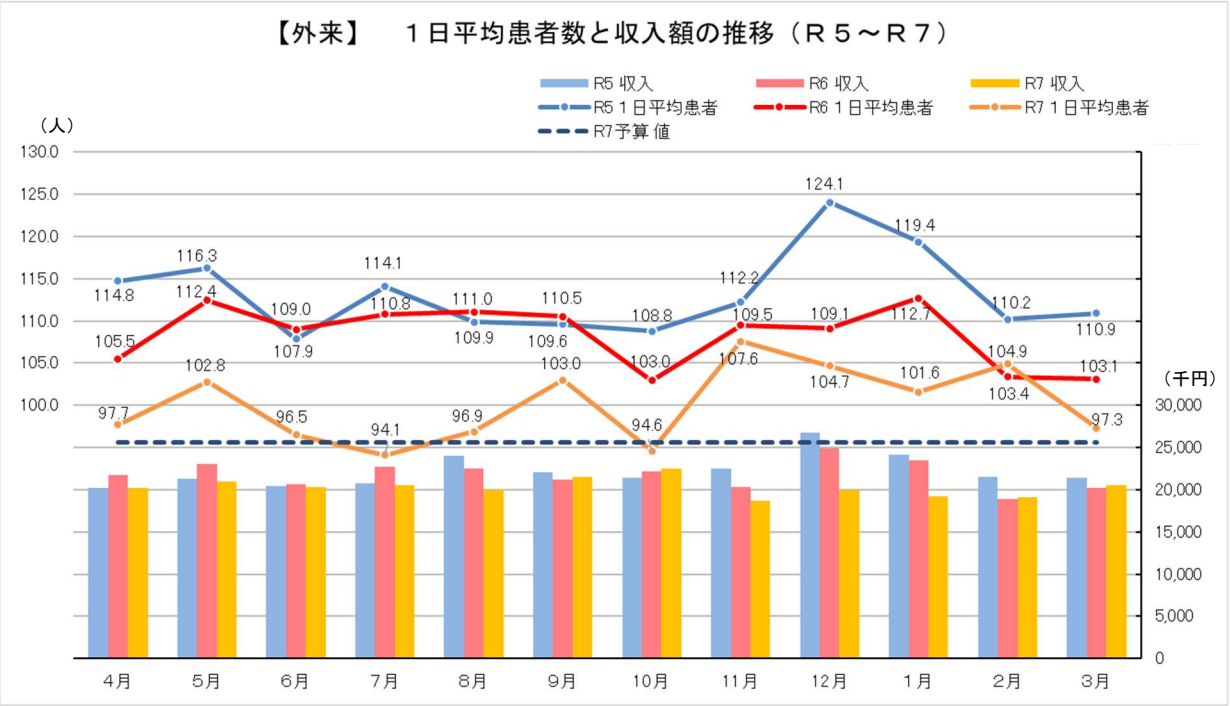


	１日平均患者数（人）			収入（千円）		
	R5	R6	R7	R5	R6	R7
４月	37.9	40.8	32.0	26,842	30,590	23,661
５月	37.8	36.5	40.7	29,077	27,031	30,337
６月	35.1	33.3	37.5	27,408	23,516	25,149
７月	40.5	36.3	36.3	32,710	27,045	26,869
８月	40.4	35.5	39.5	30,265	25,164	27,851
９月	39.7	30.7	43.2	26,737	22,097	30,607
10月	43.1	26.0	42.8	29,357	18,553	30,417
11月	40.7	32.6	45.0	27,559	22,448	32,075
12月	36.4	34.8	39.0	29,463	28,534	29,736
１月	36.9	37.5	35.8	26,736	28,458	26,075
２月	41.7	39.6	39.3	28,513	26,029	25,763
３月	40.0	35.6	37.5	26,980	26,488	28,289
	39.2	34.9	39.0	341,647	305,953	336,829

令和７年度における入院患者数は、延べ 14,252 人、１日平均 39.0 人、病床利用率 65.1％で前年度比それぞれ 1,516 人（11.9％）、4.1 人の増となった。入院のうち地域包括ケア病床利用者数は延べ 2,103 人、１日平均 5.8 人（対前年 1.1 人増）となっている。

令和６年度は夏場の熱中症や脱水関連患者の入院が少なかったことや、夏から秋にかけての死亡退院が多かったことなどの影響により、入院患者数が大きく減少となったが、令和７年度は月々の傾向含め、令和５年度水準に戻った結果となっている。

２）外来



	１日平均患者数（人）			収入（千円）		
	R5	R6	R7	R5	R6	R7
４月	114.8	105.5	97.7	20,152	21,733	20,203
５月	116.3	112.4	102.8	21,342	23,008	20,964
６月	107.9	109.0	96.5	20,450	20,628	20,340
７月	114.1	110.8	94.1	20,710	22,730	20,579
８月	109.9	111.0	96.9	24,039	22,446	20,021
９月	109.6	110.5	103.0	22,043	21,131	21,541
10月	108.8	103.0	94.6	21,350	22,129	22,514
11月	112.2	109.5	107.6	22,512	20,270	18,704
12月	124.1	109.1	104.7	26,784	24,842	19,942
１月	119.4	112.7	101.6	24,164	23,495	19,186
２月	110.2	103.4	104.9	21,498	18,876	19,069
３月	110.9	103.1	97.3	21,352	20,179	20,506
	113.1	108.3	99.9	266,396	261,468	243,569

令和 6 年度における外来患者数は延べ 24,117 人、1 日平均 99.9 人で、前年度比-それぞれ 2,154 人（8.2%）、8.4 人の減となった。

外来者数減少は、約６割（1,330 人）がリハビリ患者数の減によるもので、そのほかが内科・外科外来の減少および透析患者の入院による透析外来患者数の減となっている。

救急・時間外受け入れ患者（対前年 67 件減）および発熱外来患者（対前年 67 件減）とも減少傾向となっている。

５　患者状況および救急・時間外患者の状況について

(1) 年齢区分別延べ患者数

（単位：人）

		～５９歳	６０～６９歳	７０歳～	合計
入院	男性	83　0.6%	179　1.3%	5,154　36.2%	5,416　38.0%
	女性	63　0.4%	224　1.6%	8,549　60.0%	8,836　62.0%
外来	男性	2,193　9.1%	1,790　7.4%	7,397　30.6%	11,380　47.1%
	女性	1,392　5.8%	1,422　5.9%	9,983　41.3%	12,797　52.9%

入院患者の 96.2%、外来患者の 71.9%が 70 歳以上の高齢者となっている。

(2) 診療科別延べ患者数

（単位：人）

	内科	外科	人工透析	その他	合計
入院	7,007　49.2%	6,604　46.3%	641　4.5%	－	14,252
外来	7,185　29.7%	4,585　19.0%	3,240　13.4%	9,167　37.9%	24,177

(3) 救急・時間外患者受け入れ状況

（単位：人）

年度	時間外患者		時間内	合計
	ｳｫｰｸｲﾝ	救急搬送	救急搬送	
R7	409	131	94	634
R6	467	132	102	701
R5	581	145	88	814
R4	458	133	92	683

令和７年度の救急搬送は、時間外・時間内合わせ２２５件であった。

６　経営強化プランにおける数値目標と実績について

＜医療機能等に係る数値目標と実績＞

上段：目標値 下段：実績値	R4 旧目標値 実績値	R5 旧目標値 実績値	R6 目標値 実績値	R7 目標値 実績値	R8 目標値	R9 目標値
平均入院患者数	45 人	45 人	45 人	45 人	45 人	45 人
	35.7 人	39.2 人	34.9 人	39.0 人		
病床利用率	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
	59.4%	65.3%	58.2%	65.1%		
平均外来患者数	157 人	157 人	145 人	145 人	145 人	145 人
	116.2 人	113.1 人	108.3 人	99.9 人		
紹介患者数	50 人	50 人	50 人	50 人	50 人	50 人
	5 人	9 人	35 人	16 人		
逆紹介患者数	50 人	50 人	50 人	50 人	50 人	50 人
	12 人	19 人	46 人	37 人		
１人あたり	25,200 円	25,200 円	25,300 円	25,300 円	25,300 円	25,300 円
入院診療単価	24,030 円	23,820 円	24,022 円	23,634 円		
１人あたり	8,335 円	8.335 円	8,700 円	8,700 円	8,700 円	8,700 円
外来診療単価	9,196 円	9,689 円	9,928 円	10,074 円		
修正医業収支比率			64.0%	63.9%	62.9%	63.0%
※１	54.5%	58.8%	53.0%	52.9%		
健康診断受診者	―	―	465 人	465 人	465 人	465 人
	586 人	479 人	477 人	448 人		
ドック受診者	―	―	530 人	530 人	465 人	465 人
	442 人	446 人	461 人	450 人		

※１　修正医業収支比率：医業費用に対する一般会計繰入金を除く医業収益の割合

＜一般会計繰入金に係る数値目標と実績＞

上段：目標値 下段：実績値	R4 旧目標値 実績値	R5 旧目標値 実績値	R6 目標値 実績値	R7 目標値 実績値	R8 目標値	R9 目標値
収益的収支	368,000 千円	368,000 千円	406,050 千円	402,137 千円	401,410 千円	400,514 千円
一般会計繰入金	449,356 千円	431,719 千円	475,609 千円	475,453 千円		
医業収益に対する繰入割合	―	―	53.2%	52.8%	52.8%	52.8%
	73.5%	68.2%	78.9%	76.7%		
医業費用に対する繰入割合	―	―	34.1%	33.7%	33.1%	33.1%
	40.1%	40.1%	40.8%	40.6%		
資本的収支	55,578 千円	54,003 千円	129,779 千円	123,090 千円	91,032 千円	94,549 千円
一般会計繰入金	73,765 千円	87,572 千円	122,053 千円	154,765 千円		

※R6 下線部分は昨年報告値からの修正値